

大和屋 設計・施工マニュアル【羽目板】

設計・施工の前に必ずお読みください

設計のご注意

- 本商品は天然木を利用した商品であるため、1枚1枚全て木目や色味の濃淡が異なります。サンプル・カタログの色の違いは、自然の木材ゆえの特徴ですのでご了承ください。
- 湿気の多い地域や場所でのご使用は避けてください。
- 本商品は原則、屋内専用です。屋外でのご使用については、各自でご検討ください。
- 無塗装で使用する場合は湿気や乾燥の影響を受けやすくなり、収縮・反り、ひび割れなどが発生する可能性が高くなりますので、塗装を施してのご使用をおすすめします。
- 開口部や配管まわりなど結露が懸念される場合でのご使用は設計上ご配慮ください。
- 冷暖房機器や空調設備の風が継続して直接当たると、過度の乾燥による収縮や割れ等の原因となりますので、設計上ご配慮ください。

施工の前に

- 直射日光や雨の当たる場所、湿度が高い場所での保管は避けてください。
- 立て掛けての保管は反りや曲がりの原因となります。必ず平置きにして保管してください。
- 現場の環境に馴染ませるため、納品後梱包を開け、丸一日以上置いてから施工してください。
ただし、レッドパインや杉は湿度で変化しやすいため、開梱後すぐに施工してください。
- 天然木は一枚一枚木目や色味が異なります。施工の前に必ず色味を調整してください。
- 塗装をする場合は必ず裏面も塗装してください。表面のみの塗装は反りの原因となります。
- 品質には万全を期しておりますが、お気づきの点や不良品がございましたら、施工前に必ずご相談ください。施工後の交換にはご対応できません。

用意するもの

- ステープルまたはスクリーネイル（板厚の2.5～3倍の長さ）
- 1液型ウレタン樹脂系接着剤（推奨品：コニシ KU928C-X）

施工の手順

① 下地について

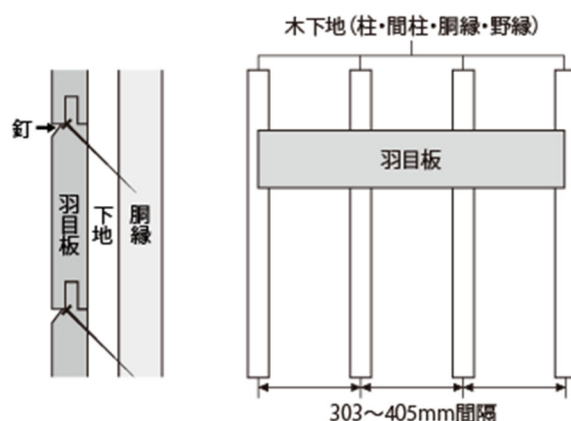
- ・柱、間柱、胴縁は、乾燥した反りがないものを使用し、303～405mm 間隔で、羽目板の継ぎ目の下には必ず木下地があるように割り付けてください。
- ・木質ボードに施工する場合は、ビス保持力が十分にあるものを使用してください。
- ・石膏ボードに施工する場合は、石膏ボードの下に必ず胴縁、野縁など羽目板を確実に固定できる下地が必要となります。羽目板の継ぎ目が胴縁、野縁があるように割り付けし、石膏ボードの継ぎ目と羽目板の継ぎ目が重ならないようにしてください。

② 接着剤の塗布

- ・下地に塗布せず、羽目板 1 枚ずつに塗布してください。
- ・実部分への接着剤の塗布は厳禁です。割れなどの原因となります。

③ 釘（ステープルまたはスクリーネイル）で下地に留め付けます。

- ・右図のように、下地に釘打ちして、羽目板を固定してください。
- ・釘は、板厚の 2.5～3 倍の長さを目安に使用してください。
- ・環境に応じて突き付けをきつめ又はゆるめにしてください
- ・釘は、材の中央方向へ向かって斜めに打ち込み、下地を通して胴縁・野縁に打ち込んでください。



※鴨居、窓枠、ドア枠などは羽目板と密着させず、クリアランスを設けて施工してください。

施工の後に

- 施工終了後、乾いた雑巾やモップで木屑や埃をきれいに拭き取ってください。
- キズや汚れ、日焼けを防ぐため、隅々まで養生シートでしっかりと養生してください。一部が露出すると、日焼けして色むらになるおそれがあります。
- 木材表面に直接養生テープを貼らないでください。表面にテープののりが残ったり、木材表面の繊維や塗装が剥がれるおそれがあります。
- 養生中もテープの剥がれが無いかを都度確認してください。隙間から小石やゴミ等が入ると、表面のキズやへこみの原因となります。
- 掃除やメンテナンスの際は、無垢材用のクリーナー・塗料をご使用ください。
[推奨：大和屋インテリアソープ、大和屋インテリアオイル]

免責事項

下記が原因として発生した不具合は、免責とさせていただきます。

●天然木の特徴によるもの

- ・色違い
- ・木目・節の違い
- ・ヤニ
- ・経年による変色
- ・伸縮
- ・軽微な反り・割れ
- ・キクイムシなどの虫の発生

●水などを放置して発生した染み・変色・カビ・膨れ・反り

●過度の加重や衝撃によって生じるへこみ・キズ・破損・汚れ

●下地の不陸など本製品以外が原因によるもの

●設計・施工マニュアルに基づかない設計・施工で発生した不具合

●ユーザーマニュアルに基づかない掃除・メンテナンスで発生した不具合

●不適切な保管状況が原因で発生した反り・キズ

●不適切な養生により発生したキズ・色むらなどの不具合

●その他天災等によるもの

※施工後の返品やクレームにはご対応できません。

万が一商品に問題があった場合は、必ず施工前にご連絡ください。

大和屋 株式会社

住所：埼玉県熊谷市問屋町 4-1-7

電話：048-526-1001 FAX：048-526-1011 メール：call@yamatoya-kk.co.jp

ホームページ：http://www.yamatoya-kk.co.jp/kenzai/

